

日刊建設産業新聞（2018年8月16日付2面掲載）
**【オリコンサル 官民連携し ECI方式試行 橋梁保全事業
 コスト縮減など効果確認 ガイドライン策定も支援】**

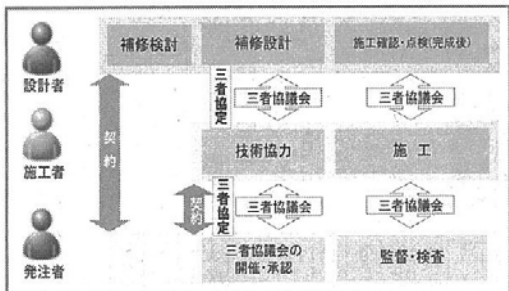
官民連携し ECI方式試行

橋梁保全事業 コスト縮減など効果確認

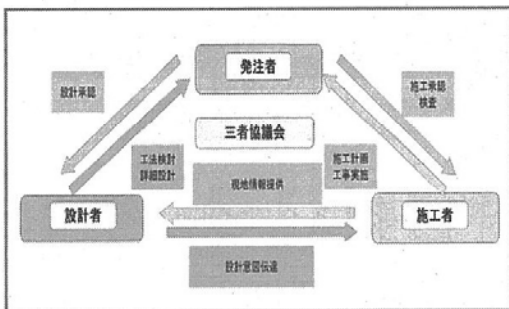
ガイドライン策定も支援

オリエンタルコンサルタンツは、奈良県田原本町との緊密な連携により、同町管理の道路橋に対して、全国の自治体初となる新しい契約方式「ECI方式（アーリー・コンストラクト・インボルブメント）」による試行業務を実施し、その内容を取りまとめたガイドラインの策定を支援した。今後、ガイドラインに基づいた試行を継続的に支援し、ECI方式導入のあり方を確立するとともに、全国の基礎自治体に対してECI方式の導入を提案し、その普及に努めていく。

同社は、基礎自治体が管理している膨大な道路ストック、特に橋梁に著目。橋梁保全事業における共通課題となる、工期に補修対策を要する橋梁の増加▽発注者負担の増



ECI方式（田原本町仕様）の概念図



三者協議会による体制図

オリコンサル

加、などに対する解決策として、新しい契約方式

であるECI方式を田原本町に提案し、16年度に同町管理の3橋を対象に、試行業務を実施した。その結果、「設計・施工完了までの事業期間の短縮」「施工段階における設計者の設計意図伝達とCM的役割による品質向上」「設計時からの足場共有によるコスト削減」「三者協議会における迅速な対応・意思決定による職員の負担軽減」などの効果が確認された。

また、試行業務の結果を踏まえ、17年度には、学識経験者を交えた検討会が開催され、ECI方式導入のガイドラインの策定を支援した。同社はこれからも、インフラの整備・保全に対して積極的に提案し、「社会価値創造企業」として地域の安全・安心や、魅力ある持続可能な社会づくりに貢献していく。